

授業科目	精神障害リハビリテーション論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE21302J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-2 DP4-2			
担当教員	笠 修彰							
授業概要	本講義では、まず精神障害リハビリテーションの歴史的背景、概念について解説する。その上で、精神障害リハビリテーションの基本原則やプロセス、さまざまな方法等を学び、精神保健福祉士の役割について理解を深める。また、精神障害リハビリテーションプログラムと精神障害リハビリテーションの実施機関の関連について解説する。							
学生が達成すべき行動目標	①精神障害リハビリテーションの歴史的背景、概念を理解できる。 ②精神障害リハビリテーションのプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解できる。 ③精神障害リハビリテーションのプログラムの知識、実施機関を理解できると同時に援助場面での活用をイメージできる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	10	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	40						40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20		10				30	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)						10	10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
①精神障害リハビリテーションの歴史的背景、概念を理解し、説明できる。 ②精神障害リハビリテーションのプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し、説明できる。 ③精神障害リハビリテーションのプログラムの知識、実施機関を理解したうえで説明できると同時に、援助場面での活用をイメージし、具体的な展開を考えることができる。				①精神障害リハビリテーションの歴史的背景、概念を理解できる。 ②精神障害リハビリテーションのプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解できる。 ③精神障害リハビリテーションのプログラムの知識、実施機関を理解できると同時に、援助場面での活用をイメージできる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション	講義	シラバスの事前通読	30分
2	精神障害リハビリテーションの歴史的背景、理念と定義	講義	講義範囲のテキスト通読	30分
3	医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーション	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
4	精神障害リハビリテーションの基本原則	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
5	精神障害リハビリテーションとソーシャルワークの関係	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
6	地域及びリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
7	精神障害リハビリテーションの構成及び展開	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
8	精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
9	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関① ー医学的リハビリテーションプログラムー	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
10	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関② ー職業的リハビリテーションプログラムー	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
11	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関③ ー社会的リハビリテーションプログラムー	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
12	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関④ ー教育的リハビリテーションプログラムー	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
13	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関⑤ ー家族支援プログラムー	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
14	精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーション	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
15	依存症のリハビリテーション、まとめ	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	30分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	受講にあたっては、2年次までに履修できる精神保健福祉士指定科目を履修済みであることが望ましい。			
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『精神障害リハビリテーション論』中央法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書、教材等については、授業のなかで紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業の理解をより深めるために、必ず事前に教科書を一読しておいてください。 日頃から新聞やニュースなどに親しむことを通して、精神保健医療福祉を取り巻く現状に実践的関心を持つよう努めてほしい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験、レポート、その他(授業に臨む姿勢や態度、積極性、参加意欲)にて評価します。			

